

月刊

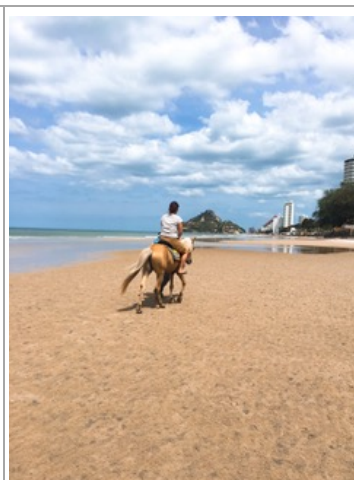
語学のスズメ新聞

7月号

Hello!! from Bangkok!!~Chiko's column~

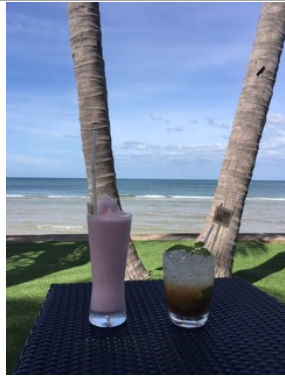


みなさん、こんにちは。いかがお過ごしでしょうか。私は、大学が夏休みに入りましたが、夏休みにはサマーコースというものがあり、今は日本語の検定取得の為のコースを担当して教えています！つい最近、3連休があり、気分転換に同僚と、普段の疲れを癒しに一泊旅行に出かけました。場所は、バンコクから車で3時間ぐらい離れた、ホアヒンという場所です！このホアヒンという場所は癒されたい人にはもってこいの場所なのです。というのも、ホアヒンは現在、タイの王族の避暑地としてよく使われている場所でも治安も良く、静かで、山も海もあり、ゆっくり過ごすには最適な場所なのです。最初に



ホアヒンに目をつけたのは植民地時代のマレーシアに住んでいたイギリス人たちが、バンコクとマレーシアが鉄道でつながれたことで、小さいながらも美しいビーチと深い森を持つ山の両方を兼ね備えながら、雨期の夏も過ごしやすいホアヒンは欧米人の避暑地となっていき、更に、バンコクで暮らしていたタイ王室の面々も遠すぎず近すぎないこの地を大いに気に入り、王族たちが次々に別荘や離宮を建てていったと言う事です。そんな背景を持つホアヒンは今もどこか高級感を漂わせていて、とても穏やかな場所です。今回、私たちはそのホアヒンに一泊二日で行ったわけですが、ホテルも少し良いところ（と言っても一泊5000円ぐらい）に泊まってみました。行ってみたら、びっくり、本当に高級リゾートホテルで、なんだか心もワクワク踊ってしまいました。ホテルはビーチ沿いで、広大なプールもありプールに入ってビーチを見ると、なんだかプールとビーチまるで繋がっているかのように綺麗で、幻想的でした。また、ホアヒンのビーチはジェットスキーやボートの乗り入れは禁止されており、海が本当に静かで、更に潮の満ち引きが大きいので朝から夕方までの潮が引いている状態の時は、砂浜の範囲が広がっているのです。そこに、沢山の馬が行き来して、観光客は馬に乗ってビーチをのんびり散策することもできるのです！

今回私たちも、馬に乗ってビーチを散策してみました！そのあとはプールサイドでカクテルを頼み、軽食をつまみながらゆっくり過ごし、夜にはナイトマーケットに行きました。手作りのクラフトや服、屋台などもありとっても良い雰囲気でした。ナイトマーケットまでは、自転車の貸し出しがあったので、自転車を漕いで行きました。（帰りは少しお酒が入っていたので要注意です、



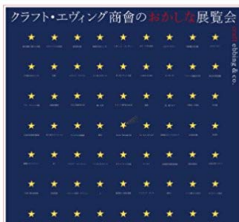
笑) バンコクは雨季に入り、オフシーズンだったと言う事もありますが、人も少なく、のんびり、最高の時間を過ごすことができました。ホアヒンはバンコクから南へ2時間ほど行くのですが、パタヤとは反対側の海沿いとなります。なので、初めてタイに旅行にいらした方には、少し珍しい観光地かもしれませんが、ゆっくり静かに山や海に癒されたい方にはオススメな場所です。また、タイには何度も来て、パタヤや島など行き尽くした方にも、少し違った雰囲気を味わえる場



所ですので、オススメです！そんなこんなで、バンコクは雨季に入り、日本も梅雨から夏本番に向かっていきますね！雨季や梅雨はなんだか心も沈みがちですが、パッと短い旅行や遠足で、気分も晴れることもあります！うまく気分

Chiko

元気が出る!! 今月のおすすめの一冊



星を売る店

みなさんこんにちは！まだまだジメジメしていますがもう7月。1年の半分か過ぎてしまったんですね。そこで今月は常日頃から頑張っている受講生のみなさんに、ちょっと一息ついていただこうと、ついついグッと笑顔になってしまう本の紹介です。1冊目は『クラフト・エヴィング商會 星を売る店』平凡社です。アートというか、なんというか…。この世に「あるもの」「ないもの」を取り寄せるお店であるクラフト・エヴィング商會が、展覧会を開催した時の公式図録といいたましようか、商品目録といいたましようか…。ちょっと不思議で、想像力を掻き立てられてしまう本なんです。

例えばですね、「稲妻の先のところ」なんていう商品があります(笑)。右上の写真をご覧ください。この本によれば、「稲妻捕り」の名人によって捕獲された新鮮な稲妻の、その先のところ。命を取られない程度の甘い電気がジリジリと感じられ、体内の「嫌なもの」を焦がしてくれるとのこと。すさまじい夕立の後が仕入れどきです。こんなふうな商品の紹介がされていて、半日ほど僕はニヤニヤと断続的な笑いが絶えませんでした。

あと一つくらいご紹介させていただくと、望遠鏡なんていうものもありましてこの商品の説明も面白いんです。

ここからいちばん遠いところは自分の背中である、と言ったのは寺山修司です。この望遠鏡を覗くと、視線が地球を一周して自分の背中が見えます。普段見えないですからね、背中って。

なんだか笑えませんか？ 寺山修司が本当にそんなこと言ったのかどうかもアヤシイですが、まだまだ他にもちょっと考えさせられる作品がたくさん掲載されています。Amazonのレビューによれば、「あの不思議な世界、ひょっとしてありそうなこと、でもないだろうな。というのがロマンの原点。しびれたままに、心地よく毒了、いや読了すること請け合い」ほんととその通り!!!





というわけで想像力は創造力。こんな不思議な本を読んで、勉強の合間に一息入れてみると、いいideaも浮かんでくるかもしれません。

イヤイヤ、そんなことではいかん! 変な本を読んで想像力を鍛えるよりも、将来に対するビジョンや夢を持って、前に進んでいくべきだ…という方。僕も以前はどちらかというところそういうタイプでした。周りがそういうので、自分も何か目標だったりを作ってそれに向かわなきゃ…。そんなプレッシャーを感じていました。けれど振り返ってみると、実際はちょっとそれでは上手くいかないことが多かったかなあ…と思っています。日本人だったら大体同じような経験をしているのかもしれませんが、小学生くらいまでは「将来の夢はなに?」って聞かれてきて、中学生以降になると「そんな夢みたいなことばっかり言ってるんじゃないの。もっと現実を見なさい」こんな感じに変わってきます。一体どうして、一体いつから変わってしまうんでしょう。結局僕の場合やってきたことといえば、目の前にやらなくちゃならない必要なことが起きて、それに対して自分なりに一生懸命やっていたら、今になっていた。こんな感じです。だったら、夢なんか持つ必要ないんじゃないの?? 逆に極端な話「今、目の前のことに集中しよう」これだけでいいんじゃないかと思えます。

当校のイギリス人の40代の先生に聞いたところ、当時のイギリスの小学校では、「夢を持ちなさい」なんて言われたことは全くなくて、逆に「ちゃんと学校の勉強しなさい」と言われ、ちょっとイタズラをしたら校長先生にスリッパでお尻を叩かれたそうです(泣)。気になったのでイギリスのことについて色々調べていたところ、面白い人物を見つけました。豪州でコメディアンとして活躍するティム・ミンチン氏は一風変わっていながらも、的をついていることを、「人生の9つのレッスン」の中で言っています(以下、抜粋)。

1 つ目に、夢を持つ必要はありません。アメリカのタレントショーではいつも夢について語りたがります。ずっとやりたいこと、心の中に夢を持っているのは結構なことですが、頑張ってください。結局夢を追う、自分の時間の中でやることです。

そしてその夢が大きければ、叶えるまでにあなたの人生のほとんどを必要とするでしょうし、そこに到達し、あなたの達成の意義のなさという深みを見つめる頃には、あなたは既に死にかけているでしょう。ですから、意味などありません。私は夢という夢を持ったことはありませんし、情熱的に、献身的に短期の目標に没頭することを提唱します。マイクロ野心家になってください。頭を下げ、何でも自分の目の前にあるものにプライドを持って取り組んで下さい。結果がどうなるかなんて誰にもわかりません。気を付けていなければいけないのは、きっと次に自分の周囲に現れるであろう価値のある目標です。だから長期の夢には気をつけなければいけないのです。自分から遠すぎるものに焦点を合わせていると、目の前の小さなものが見えませんか? よし! アドバイスの比喻です、どんどんいきますよ。

1. You Don't Have To Have A Dream.

Americans on talent shows always talk about their dreams. Fine, if you have something that you've always dreamed of, like, in your heart, go for it! After all, it's something to do with your time... chasing a dream. And if it's a big enough one, it'll take you most of your life to achieve, so by the time you get to it and are staring into the abyss of the meaninglessness of your achievement, you'll be almost dead so it won't matter.

I never really had one of these big dreams. And so I advocate passionate dedication to the pursuit of short-term goals. Be micro-ambitious. Put your head down and work with pride on whatever is in front of you... you never know where you might end up. Just be aware that the next worthy pursuit will probably appear in your periphery. Which is why you should be careful of long-term dreams. If you focus too far in front of you, you won't see the shiny thing out the corner of your eye. Right? Good. Advice. Metaphor. Look at me go.

2 番目に、幸福を追求しないこと。忙しくあり、他人を喜ばせることに集中していれば、副作用として自分も少し幸福になれるのです。 **Don't Seek Happiness. Keep busy and aim to make someone else happy, and you might find you get some as a side effect.**

3 番目に、すべては運です。 **Remember, It's All Luck**

4 番目は、運動です。 **Exercise**

5 番目に、自分の意見に冷酷であれ。 **Be Hard On Your Opinions.**

6 番目は、先生になれ! 自分の教育を無駄にしないでください。学んだことを喜び、広めるのです。 **Be a teacher. Don't take for granted your education. Rejoice in what you learn, and spray it.**

7 番目は、自分が好きなものによって自分を定義しなさい。自分が好きなものに対する情熱を表現してみてください。自分が尊敬する人に対する称賛を寛大に表現しましょう。感謝のカードを送ったり、スタンディングオベーションを捧げたりしましょう。反対するのではなく賛成派になりましょう。 **Define Yourself By What You Love Try to express your passion for things you love. Be demonstrative and generous in your praise of those you admire. Send thank-you cards and give standing ovations. Be pro-stuff, not just anti-stuff.**

8 番目に、自分より力がない人を尊重しましょう。 **Respect People With Less Power Than You.**

遂に 9 番目。焦らないこと。残りの人生で何をやるのか知る必要はありません。人生は時には長く感じ、辛く、本当に疲れます。あなたは時々うれしくなり、ときどき悲しくなり、そして歳を取り、やがて死ぬのです。この空虚な存在に対してとれる、唯一の賢明な方法は、それを埋める(フィル)ことです。切り身(フィレ)にするではありません。埋めるのです。私の意見ですが、私の気が変わるまでですが、人生は学習で埋めるのが一番だと思います。できるだけ事を、できるだけたくさん学ぶのです。自分がすることが何であれ、プライドを持ってください。同情心を持ってください。アイデアを分かち合ってください。走ってください。熱心であってください。

9. **Don't Rush.** *You don't need to already know what you're going to do with the rest of your life. You will soon be dead. Life will sometimes seem long and tough and, god, it's tiring. And you will sometimes be happy and sometimes sad. And then you'll be old. And then you'll be dead. There is only one sensible thing to do with this empty existence, and that is: fill it. Not fillet. Fill. It. And in my opinion (until I change it), life is best filled by learning as much as you can about as much as you can, taking pride in whatever you're doing, having compassion, sharing ideas, running(!), being enthusiastic.*

いかがですか? なんだか日本人のメンタリティーにも共通していて面白いですね。ご興味のある方は調べて見て下さいね♪ まとめ小林義和

Rie's English Column

こんにちはスタッフのRieです。今回は「直接話法・間接話法」について書きたいと思います。先月号の例文はMr. Sato called and told me that he was(is) feeling sick. というものでした。では後の文章(that節)が前の文章の前に起こった事の時、たとえば、

My mother said to me, "I called you yesterday, but you didn't answer."

My mother told me that she had called me the previous night, but I hadn't answered.

というように変わります。母が電話したのは私に伝えた以前の事ですので、この場合は後ろの文章が過去完了になります。(まあ、実際会話ではそのまま過去形でも良いのですけれどね、。)

間接話法でもthat節が無いものがあります。よく使われるのがask(尋ねる)と共に使われる「〜かどうか、」という意味の"if"~"whether"です。

My mother asked me if (whether) I was going to visit her on the weekend.

ask 以外でも下記のように使えます。

My mother wanted to know if (whether) I was going to visit her on the weekend.

その他のthat節がないものには、

My mother told me to come visit her.(こちらはどちらかという命令・依頼です。実際のうちの母はこんな風には言いませんが、笑)

(=My mother told me that I should come visit her.)

My doctor advised me to do more exercise.(adviseを使った忠告の文)

(=My doctor advised me that I (should) do more exercise.)

先月号ではsuggest(提案する)を使いました。ではinsist(主張する・強要する)ではどうでしょう?

My mother insisted that she (should) buy my lunch.「母は私のお昼ご飯をかうわよ、と言った(譲らなかつた)」(先月号でも書きましたがthat節の文は主語や節の時制に関係なく動詞は原形です。これは仮定法の一つです。)

そしてinsistは前置詞"on"+動名詞を使い言い換える事ができます。

My mother insisted on buying my lunch.

さて、今月はこの辺で終わりにします。ジメジメの季節が続きますが、皆さん体調に気をつけて夏を迎えましょう!

Rie